

# 「崇仁イラストマップと地域サイン」の制作と活用 デザイン基礎2 回生環境デザイン課題における取 り組みの報告

著者	藤本 英子
雑誌名	研究紀要
号	63
ページ	135
発行年	2019-03-29
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1290/00000215/">http://id.nii.ac.jp/1290/00000215/</a>

# 「崇仁イラストマップと地域サイン」の制作と活用

デザイン基礎2回生環境デザイン課題における取り組みの報告

Creating and Utilizing Suujin Illustrated Maps and 3D Symbols:

A Report of Environmental Design Projects in the Second-Year Basic Design Course

Hideko Fujimoto 藤本 英子

前期授業でのデザイン基礎2回生課題に続いて、後期には環境デザイン課題として、イラストマップ（現在と明治時代）の作成と、地域のサイン提案を行った。前期課題と同様に、崇仁発信実行委員会と、自治連合会との連携での実施となった。

現在、崇仁地区には平成21年に作成された崇仁歴史マップが存在する。当時、わかった過去の歴史は可能な限りの表現で同紙面に記されている。

環境デザイン課題1では、地域の魅力を学生たちの目で発見し、イラストマップという形で多くの訪問者に提供できるものを作成するとともに、同データで大型バナーを作成し、地域の施設やイベントでの掲示を目指してスタートした。課題を選択した2名の学生とともに、初日12月4日には、崇仁発信実行委員会の藤尾さんと、柳原銀行記念館の山内さんのご案内で、地域の歴史や情報をまち歩きで学びながら、地域の魅力を読み取っていった。イラストマップの指導では、本学環境デザイン卒業生の小西さんから学び、作成に入った。

観光案内には、地域のサインが不可欠である。来訪者のために求められるサイン計画や、地域の環境にふさわしいサインの提案を次の課題とした。12月14日にはイラストマップの中間発表とサインの作成をスタートした。

12月21日、下京青少年活動センターにて地域の方々もご参加いただき、プレゼンテーションを行った。学生たちが提案したのはA3サイズの裏表で使うイラストマップとなった。現在の地図と、明治時代の地図を片面ずつ同じスケールで表現している。地域に産業として根付いていた革製品である靴がイラストのシンボルとなっていた。サインの提案では、木製のバス停のようにスタンド型の案内板が提案された。中心には提案のイラストマップを入れるポケット付きである。この企画に共鳴くださる店舗に置いていただき、店頭への出し入れなどをお願いするという。これらは、今後の地域案内サインとして、そしてイラストマップとして、継続的に修正を加えながら活用を、進めていく予定である。



崇仁イラストマップ

(京都市下京区民が主役のまちづくりサポート事業、  
京都府地域力再生プロジェクト支援事業)

